

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.39

2021.11 月号

日本事務局報告

SDGs

AICHI EXPO 2021 に 参加いたしました！



2021年10月22日、23日にAichi Sky Expoで開催されました、SDGs AICHI EXPO 2021に参加いたしました。

当日は私たちの活動を説明するとともに、数多くの来場者の方々に興味を持っていただき、ご寄附をいただきました。

開発途上国の子どもたちが夢を持ち、夢を追いかけて、夢を叶えられるような活動を続けていけば、SDGsの目標達成に大きく近づくと思っております。

これからも地球・まち・ひとが共生できる社会を目指すためにSAJは活動を続けていきます！



支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



カンボジア医師団来園

カンボジアの医師団の方たちが来園し、子どもたちの耳鼻科検診を行ってもらいました！



裕福度調査

年に1回の在園児宅の裕福度調査を行いました。生活環境を確認して子どもたちを継続して在園させるべきかの判断をするための調査をいたしました。

調査家庭: 20件⇒在園児 37名分

調査対象: 入園1年以上の小学5年生～高校2年生(※現在の学年)

来年以降も調査児童全員を預かることになりました。



学校運営（バングラデシュ）【NDMSC】

エッセイコンテストで入賞

「Safe Food and Health Protection」というJICAと教育省が主催するエッセイコンテストがあり、本校から5名入賞しました。

全国大会に出場することが確定しているため、ベンガル語教員が指導し全国入賞を目指します！



学校再開！

教育大臣より学校再開しても良いと発表があり、昨年の3月からの休校がようやく終わりました。

NDMSCでは急な学校再開に対応できるように準備をしてきたため、9月12日より制限付きですが開校いたしました。

主な制限について

- 卒業試験がある学年(class5,class10,class12)は毎日登校させても良い。
- 他学年においては週に1度を上限として登校させても良い。
- 校内ではマスクの着用・健康確認・アルコール消毒の設置など実施すること。
など

孤児院卒園生の活躍

プノンペン事務所より

プノンペン事務所では、奨学生に学費や生活費を支払ったり、卒園生(OBOG会)の管理をしています。孤児院を卒園した子どもたちが、大学進学や就職など活躍の場を広げています！！そこで、感謝を込めて皆様にご報告していきたいと思います。



デット・パンヤー

国立バットンバン師範学校
(小学校の先生)2年生(卒業)
年齢:20歳

現在やっていること:
ピタヌー小学校の先生です。

将来の夢:
高校の先生をやりたいです。

師範学校に通ってるとき、友達と50ドルの部屋を借りて暮らしました。皆と交代でご飯を作ったりしました。師範学校の入学試験前にたくさん去年の試験問題を調べて特に小学校の師範学校の問題を解きました。数学は高校3年生とあまり変わりません。国語は歴史的な物語をたくさん読んでいました。

師範学校に入ったら高校の勉強と違います。ほとんど教え方と教案の書き方の関係です。問題の説明の仕方とか、自習が多かったです。



パンヤー(後列右から2番目)



トム・ティアン

ウェスタン大学(Western University)
(英語コミュニケーション)4年生
年齢:25歳

現在やっていること:
私立学校で英語の先生です。

将来の夢:
公務員(先生か警察)です。

コロナの影響でウェスタン大学はまだまだ卒業準備しています。現在プノンペンで私立学校で英語の先生をやっています。学校の時間外でも教えています。毎日自分で英語を勉強したり、教えたりして、色んな違う知識を持ってる生徒たちと会って自分にとっても勉強になりました。学校の先生の仕事はすてきな仕事だなと思っています。コロナの影響で学校を通えられなくなりましたが、今オンラインで教えたりしています。でもそんなに収入を得られないです。早くコロナが落ち着いてくれると嬉しいです。



トム・ティアン(一番左)

孤児院からの報告

ポウ・ボーラーと ポウ・ボーライ兄弟入園

父親は足が不自由で仕事が出来ず、廃品回収で生活を支えていた母親も先日亡くなったため、二人を養育できなくなったとのことで、急遽入園させることになりました。ご飯もいっぱい食べて元気に生活しています。



ポウ・ボーラー
11歳 小学2年生



ポウ・ボーライ
4歳 未就学



理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事: 渡邊美樹

■理事: 鳥井親一、清水和雄、
武長彩子、高橋亮

■業務執行理事: 青木茂雄

■評議員: 大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、
戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事: 片山進平、清野貴彦

第220回理事評議員会が2021年10月26日にソーシャルディスタンスに配慮し、開催されました。

【決議事項】

議案1:2021年度建設校5校の検討と承認

議案2:学校建設プロセス及び調査表の見直しに関する検討と承認

議案3:会員証発行について

議案4:カンボジア出張について

【報告事項】

報告1:孤児院報告 近況報告

報告2:プノンペン事務所報告

報告3:バングラデシュ報告

報告4:会計報告



久しぶりの
リアル開催
でした！

今後の予定

11月29日…理事評議員会

12月27日…理事評議員会

10月22日、「SDGs 愛知EXPO 2021」にてSAJの活動について講演しました。SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) は17の目標が定められており、SAJはその目標達成に直接的に関わっています。

学校建設・就学支援・学校運営事業は「4. 質の高い教育をみんなに」、食糧支援事業は「2. 飢餓をゼロに」、学校のトイレ・井戸の設置は「6. 安全な水とトイレを世界中に」、孤児院の運営は「1. 貧困をなくそう」に、そしてSAJのすべての活動を通じて、カンボジアやバングラデシュといった開発途上国の「10. 人や国の不平等をなくそう」に寄与しています。

皆様のご支援によってSAJは持続可能な社会を実現すべく様々な活動を行っていますが、一方で、SAJ自身が持続可能でなければ、この活動を継続することはできません。そのために、例えばバングラデシュの学校運営事業では、2013年の開校当初はすべての生徒の授業料が無料であったところ、当初想定を大幅に上回って円安が進行したこと、高額所得世帯から授業料を徴収することで、持続可能性を高めました。また、カンボジアの孤児院

OBOGの大学生に貸与する奨学金は、就職後に少しずつ返金してもらうこととし、後輩の奨学金に循環させています。

コロナが長引いても、財政危機に端を発する極度の円安やハイパーインフレが起こっても、カンボジアやバングラデシュの子どもたちに影響を与えないよう、SAJ自身の持続可能性を高めて参ります。そして、SAJ自身の持続可能性を高めるために、支援者の裾野を広げることも大切です。一人でも多くの支援者様をご紹介しますよう、ご協力をお願い申し上げます。



里親様募集!!

*「夢追う子どもたちの家」は、子どもたちの夢を育み、健全な成長を促進するとともに、将来、自身に備わった素晴らしい能力に気づき、それを伸ばし社会に貢献できる子どもたちを育成することを目標としています。

*里親の皆様から頂いた支援金は、子どもたちの食費・生活費等、使わせて頂きます。

現在、孤児院「夢追う子どもたちの家」では定員人数80名に向けて調査を進めています。コロナウイルスの影響で失業者も増えたことから、学校に通えない、食事・生活がともにできない子どもたちが増えています。里親になって「子どもたちを応援したい」「子どもたちの夢の伴走者になりたい」と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

ご支援いただいた寄附

2021 年

9 月の寄附金合計 3,516,476 円

(内訳) 会員会費	1,417,500 円
一般寄附	1,922,512 円
指定寄附	176,464 円

募金箱回収ありがとうございました

2021 年 9 月募金箱回収

- ☐ SOMPO ケア ラヴィーレ習志野台
- ☐ (株) ストーン・フィールド
- ワタミ (株)
- ☐ 「三代目 鳥メロ」西船橋南口店 ☐ 「炭旬」綾瀬店



募金箱回収してくださった方（順不同、敬称略） ※法人名、団体名は2021年4月現在のものです。
募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。



これまでの実績

いただいた寄附金の累計額 (2001 年度～ 2020 年度) 32 億 448 万 1,028 円	現在、SAJ の建設した 学校で授業を 受けている児童・生徒の人数 (2021 年 3 月現在) 100,943 人	SAJ の建設した学校で お米を受け取った 児童数の累計 (2006 年度～ 2020 年度) 12,312 人
建設した学校の合計 (2001 年度～ 2020 年度) 318 校	ふれあいサポートプランで 文房具や制服を受け取った 児童数の累計 (2003 年度～ 2020 年度) 16,346 人	SAJ の建設した学校で 朝給食を支給された 児童数の累計 (2006 年度～ 2020 年度) 125,879 人

皆様からの会費・寄附は「1 円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額) 1 口 12,000 円
法人会費(年額) 1 口 120,000 円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附 (1) 一口寄附 (一口 100,000 円)、(2) 一棟寄附
- 食の支援寄附 (金額自由)
- 孤児院運営寄附 (金額自由)
- 孤児院運営会費 (12,000 円 / 月)
- 孤児院里親会費 (12,000 円 / 月)
- 奨学金寄附 (金額自由)
- 学校運営寄附 (バングラデシュ) (金額自由)

詳細は SAJ 事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJ のホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

- 郵便局: 00140-5-345903
- 三井住友銀行: 蒲田支店 (普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。